

87名の卒業生の皆様、卒業おめでとうございます。

本来なら今日の卒業式・学位記授与式は、ご父兄、ご家族や多くの来賓の方々の列席のもと盛大に行われるはずでしたが、新型コロナウイルスの影響でささやかな式典となったのは、私達にとっても残念で仕方ありません。

ご家族、保護者の方々は今日の卒業式に出席できなくても、皆様の卒業を心から喜んでいることと思います。今日の良き日を迎えることが出来たのは、皆様自身の毎日の努力はもちろんですが、これまで20年余りに渡って深い愛情を注ぎ、励ましてくださったご両親、ご家族、その他多くの方の支援があったからこそです。皆様を支えてくださった多くの方々に「感謝の気持ち」を忘れないでください。

コロナの影響で、この2年間、大学に登校出来ずオンライン授業になったことがありましたし、密を避けるために2つの教室での講義になりました。また病院での実習がほとんど行われなかったこと等、思い描いていた学生生活と異なり、たくさんの不安と心配の中で過ごしたことでしょう。そんな中であっても、皆様は本当によく頑張り、国家試験に合格されたことに、心から敬服いたします。

コロナで入院する患者には、胸部X線写真とCT検査が欠かせません。重症患者の正確な診断、的確な治療を行うには、診療放射線技師の撮影する胸部X線写真とCTが大きな役割を果たしています。

大学では放射線の基礎から最先端の放射線技術まで学びましたが、放射線の医学利用、放射線診断・放射線治療は急速に進歩しています。現在の最先端技術も数年後には新しい技術に置き換わります。皆様はこれから50年近く診療放射線技師として仕事することになりますが、その都度、全く新しい技術を取り入れ、それをマスターし使いこなさなければなりません。その際には困難な局面にいくつも出会いますが、それらを解決し乗り越えてゆかねばなりません。これからも一生勉強です。ただ、それでもなかなか思うようにならないものです。予定通り計画通りには進みません。人生は思いもよらない形で挫折することがあります。

### 「その場、その場でベストを尽くす」

しかありません。家族・友人・先輩・教師などに相談し、助けてもらい、励ましてもらいながら、努力しベストを尽くせば必ず道は開けてきます。難しいことに挑戦し高い壁にはじかれながら、一步ずつ成長していきます。本学では難しい問題を解決する心構え、分からないことを理解するための努力などを学んだことでしょう。

この4年間の大学生活で多くの友人、先輩・後輩が出来ました。卒業後も学友会あるいは学会・研究会等を通じて、これからも何度も顔を合わせるようになります。我々は一生仲間です。我々はこれからも一生のつきあいとなるのです。この仲間意識、強いきずなが本校の誇りとなっています。1927年の創立以来、本学を卒業した4千人余りの先輩、学友会が本学の大きな財産です。

これからも生涯、本学の建学の精神

### 「品性を陶冶し、有為の技術者を養成することを以て目的とする」

を、心に留めておいてください。放射線医療の技術とともに品性、人間性を磨いてください。仕事をしていると、どのような仕事であれ、必ずその人の人間性が現れてきます。

「卒業生の皆様が本学をさらに発展させる」という強い自覚と責任を持って、これからも本校の発展に寄与してくださることを期待しています。

卒業生の皆様が4月からそれぞれの病院で、職場で、診療放射線技師として活躍され、社会に貢献する人材になられることを心より期待しています。

皆様の輝かしい新しい門出を祝福して、私の饞の言葉といたします。

令和4年3月5日

学校法人島津学園 京都医療科学大学

学長 遠藤 啓吾